

学校訪問シリーズ 19

由布市立庄内中学校から学ぶ

学校の教育目標「賢く、優しく、たくましく 地域と共に未来を創造する生徒の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「学んだことを活用しようする力」と定め、目指す生徒像を、

- ・学んだ知識・技能を使って、生き生きと活動する生徒
- ・共感的に話を聞き、見方・考え方を広げる生徒
- ・学んだことを地域・社会や自分の将来に活かせる生徒

として、人権尊重の精神に根ざした信頼される学校づくりに取り組んでいます。



学校経営から学ぶ

本校は、昨年度まで『深い学び』を実現する学習活動の在り方 ～『知識の構造』をもとにした学習場面の設定、『問い』と『対話』の工夫を通して～」を研究主題として、3年間実践研究を行ってきました。特に、右の図の「対話の基本」は、多くの学校の参考になるものです。

クローズド・クエスチョン	1問1答完結型	それはいつですか？ それはどこですか？ それは何ですか？ それは誰ですか？
オープン・クエスチョン	具体化 〔言い換え〕	たとえば、どういことですか？ たとえば、それは〇〇ですか？
	抽象化 〔言い換え〕	つまり、どういことですか？ つまり、〇〇といことですか？
理由や根拠を尋ねる	理由を尋ねる	なぜ、そう言えるのですか？
	理由の裏付け	本当に、そう言えるのですか？
思いや考えをきく	思い・考え	そのとき、どう思いましたか？ 〇〇について、どのように考えますか？
価値付けをきく	価値付け	あなたにとって、〇〇とは何ですか？

今年度は、生徒の調整力を高めるために、これまでの実践を継続しながらも「振り返り」に重点を置き、生徒自身が本時で理解できたこと、できなかったを整理し、復習や次時への課題へつなげる実践を行っています。

授業から学ぶ

日常的に生徒達が協力しながら課題を解決しているからでしょう、参観した全ての授業において、男女関係なく共に学び合う姿がとても印象的でした。

今後は、生徒が学び合う際は、教師は全体を俯瞰的に見ることで、それぞれのグループの良さや進捗について形成的な評価を行い、次への活動につなげると良いと思いました。(教師の立ち位置の工夫)

また、指導案の「振り返り」では、教師が願う具体的なゴールの姿を、生徒が表現するような言葉で表すことで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になるので、教科を超えた授業研究にも活かせると思いました。



NO.178 2022年10月 由布市立庄内中学校

多方面から

みんなで集中しながら観察すると、写真ではわからない変化の様子がよく分かる。



NO.176 2022年10月 由布市立庄内中学校

仲間だから

分らない事が素直に言える。だから、教える人も解説がしやすい。



NO.175 2022年10月 由布市立庄内中学校

学び合い集団

クラスの全員がわかるまで学び合う。みんなが成長する。



NO.177 2022年10月 由布市立庄内中学校

よく見る、感じる

実物をよく観察すると、いろいろな発見がある。だから、新しいアイデアが生まれる。